

# 確認テスト（第1回）

1. 経営情報システムは、\_\_\_\_\_を実現する手段として利活用される情報システムを指すことが多い。
2. 経営情報システムによる経営戦略を実現するため、\_\_\_\_\_、\_\_\_\_\_、\_\_\_\_\_の手順がある。
3. 情報戦略とは、\_\_\_\_\_の一部であり、情報に関する資源を\_\_\_\_\_し、情報を\_\_\_\_\_していく戦略である。
4. 情報戦略で検討するべき資源には、\_\_\_\_\_、\_\_\_\_\_、\_\_\_\_\_がある。
5. データ資源とは、\_\_\_\_\_の価値をもつデータである。
6. SWOT分析を用いて、企業の\_\_\_\_\_環境を把握できる。SWOT分析のSは\_\_\_\_\_、Wは\_\_\_\_\_、Oは\_\_\_\_\_、Tは\_\_\_\_\_を表している。<sup>16</sup>

## 確認テスト（第2回）

1. B to Cは、 \_\_\_\_\_ と \_\_\_\_\_ の間の取引である。
2. BTOは、 Webサイトで消費者の \_\_\_\_\_ を受けてから最終製品の \_\_\_\_\_ を開始することで在庫リスクを \_\_\_\_\_ するビジネスモデルである。
3. 買い手個人が購入条件を指定して公開し、売り手個人が応じるやり方を \_\_\_\_\_ という。
4. 消費者の視点で川上から川下までのサプライチェーンを見直し、そこに存在するムダを省くことによる全体最適の追求を \_\_\_\_\_ という。
5. RFIDは、 \_\_\_\_\_ を用いてRFタグ上のデータを読み取ることができ、複数のRFタグ上のデータを \_\_\_\_\_ して読み取ることができる。

# 確認テスト（第3回）

1. DXとは、\_\_\_\_\_と\_\_\_\_\_を活用したさまざまな変革である。
2. IoTは、\_\_\_\_\_の考え方をインターネットの利用場面にまで広げたものと言える。
3. ブロックチェーンとは、\_\_\_\_\_型ネットワークである。
4. \_\_\_\_\_とは、従来のSQLだけでは対応しきれないビッグデータ処理に対応する技術である。
5. \_\_\_\_\_は正解ラベルが与えられたデータで学習させる方法で、迷惑メールフィルタなどに用いられる。
6. 深層学習（ディープラーニング）とは、人間の神経細胞の仕組みを再現した\_\_\_\_\_を用いた機械学習の一種である。

# 確認テスト（第4回）

1. 一般的に、コンピュータは、 \_\_\_\_\_・\_\_\_\_\_・\_\_\_\_\_・\_\_\_\_\_・\_\_\_\_\_の5大装置により構成されている。
2. 記憶装置には、主に処理に使われる \_\_\_\_\_記憶装置と主に保管に使われる \_\_\_\_\_記憶装置がある。
3. \_\_\_\_\_記憶装置とは、CPUが直接読み書きできる装置である。
4. \_\_\_\_\_は、基本的には読み出し専用のメモリであり、電源を落としても内容は保持される。
5. コンピュータでは、 \_\_\_\_\_と \_\_\_\_\_を組み合わせる \_\_\_\_\_進数で情報を表現する。
6. 1TB = \_\_\_\_\_GB, 1MB = \_\_\_\_\_KB, 1Byte = \_\_\_\_\_Bits。
7. CPUとRAM（メモリ）間のチップセットを \_\_\_\_\_ という。

# 確認テスト（第5回）

1. 複数の物理ディスクを1つの\_\_\_\_\_とみなし、\_\_\_\_\_や\_\_\_\_\_を改善した仕組みがRAIDである。
2. 演算装置と制御装置をあわせて\_\_\_\_\_という。
3. 演算装置には、処理に必要な情報を一時的に保持するために\_\_\_\_\_といわれる高速メモリを用いる。
4. キャッシュメモリは、\_\_\_\_\_と\_\_\_\_\_のアクセス時間の差を解消するために置かれる高速の記憶装置である。
5. 主記憶装置のアクセス時間が50ns、キャッシュメモリのアクセス時間が5ns、キャッシュメモリのヒット率は0.5のときの平均アクセス時間は\_\_\_\_\_ns。

# 確認テスト（第6回）

1. ソフトウェアは、\_\_\_\_\_ソフトウェアと\_\_\_\_\_ソフトウェアに分類される。
2. OSの英語は、\_\_\_\_\_であり、コンピュータを\_\_\_\_\_するためのプログラム群である。主なOSは\_\_\_\_\_、\_\_\_\_\_、\_\_\_\_\_などがある。
3. コンピュータに行わせる\_\_\_\_\_の単位をジョブという。ジョブはいくつかの\_\_\_\_\_から構成される。タスクとは、OSからみた処理の\_\_\_\_\_単位である。
4. OSSの代表的なライセンス条件パターンに、\_\_\_\_\_Licenseや\_\_\_\_\_General Public Licenseがある。
5. BIOSの英語は、\_\_\_\_\_であり、入出力装置、主記憶装置、補助記憶装置などの状態を確認、制御する。

# 確認テスト（第7回）

1. コンピュータが登場した当時、プログラム言語は0と1で構成される\_\_\_\_\_であった。その後、機械語をわかりやすく表示する\_\_\_\_\_が開発された。現在、主なプログラム言語は人間の日常単語で表現される\_\_\_\_\_で記述されている。
2. 高水準言語は、\_\_\_\_\_と\_\_\_\_\_に分けられる。
3. オブジェクト指向とは、\_\_\_\_\_と\_\_\_\_\_を一体化した、オブジェクトという\_\_\_\_\_を持ったデータを用いて情報処理をする考え方である。
4. Pythonは、\_\_\_\_\_や\_\_\_\_\_を容易に行えるプログラミング言語である。Rは、オープンソースの\_\_\_\_\_向けのプログラミング言語である。
5. インタプリタとは、高水準言語で記述された原始プログラムを、1命令文ごとに\_\_\_\_\_し、実行する\_\_\_\_\_である。

# 確認テスト（第9回）

1. プログラムは、\_\_\_\_\_と\_\_\_\_\_の組合せである。前者は\_\_\_\_\_であり、後者は\_\_\_\_\_である。
2. 基本データ型には、\_\_\_\_\_、\_\_\_\_\_、\_\_\_\_\_、\_\_\_\_\_、\_\_\_\_\_などがある。
3. データ構造には同じ基本データ型を要素を持つ\_\_\_\_\_、異なった基本データ型を要素を持つことができる\_\_\_\_\_がある。
4. 配列型には、一次元配列、二次元配列などがある。二次元配列は一次元配列へ変換することが可能でしょうか。例を用いて説明してください。

## 確認テスト（第10回）

お好きなプログラミング言語を使用して、要素数Nの配列aを任意のソートアルゴリズムで昇順（小さい順）にソートしてください。

# 確認テスト（第11回）

1. \_\_\_\_\_処理は、ある時間間隔でまとめて一度に処理する方式である。\_\_\_\_\_処理は、処理の要求やデータ発生の都度、直ちに処理を行う方式である。
2. 多数のコンピュータが対等の立場でデータなどをやり取りする仕組みを、\_\_\_\_\_という。
3. DNSの英語は\_\_\_\_\_であり、コンピュータのホスト名（ドメイン名）と\_\_\_\_\_を結びつける役割を果たしている。
4. \_\_\_\_\_サーバは、クライアントやメールサーバが電子メールを転送する際に用いられる。
5. \_\_\_\_\_サーバは、クライアントが電子メールを受信する際に用いられ、タイトルや発信者を見て受信するかどうかを決めることができる。

# 確認テスト（第12回）

- \_\_\_\_\_技術により、1台のコンピュータ上に複数台のコンピュータがあるような使い方ができる。
- \_\_\_\_\_とは、IaaS、PaaS、SaaSなどのクラウドコンピューティングサービスを組み合わせて提供するサービスである。
- \_\_\_\_\_を利用してすることでHTMLで個別設定から解放され、効率的にWebページを作成することができる。
- JPEGは\_\_\_\_\_（可逆・非可逆）圧縮方式です。GIFは\_\_\_\_\_（可逆・非可逆）圧縮方式です。PNGは\_\_\_\_\_（可逆・非可逆）圧縮方式です。BMPは、基本的には無圧縮で画像を保存するが、\_\_\_\_\_（可逆・非可逆）圧縮方式を選択できる形式がある。
- 画像の\_\_\_\_\_形式では、画像サイズを変更しても画像が劣化しない。

# 確認テスト（第13回）

1. \_\_\_\_\_とは、ファイル名やディレクトリ名を指定するときに使う「任意の文字」を意味する特殊文字のことである。
2. CSVとは、データ間を\_\_\_\_\_で区切り、レコード間を\_\_\_\_\_で区切るファイル形式である。
3. 画像や動画、音声を記録したファイルや、実行可能形式のプログラムを収めたファイルなど、文字のみで構成されるテキストファイル以外は全て\_\_\_\_\_ファイルに含まれる。
4. カレントディレクトリから目的のファイルやフォルダまでの道筋を記述したもの\_\_\_\_\_パスという。

# 確認テスト（第14回）

1. RDBの英語は \_\_\_\_\_ である。
2. DBMSの英語は \_\_\_\_\_ である。
3. SQLの英語は \_\_\_\_\_ であり、大きく分けて \_\_\_\_\_ 、 \_\_\_\_\_ の2種類から構成される。
4. SQLによるデータの参照には、 \_\_\_\_\_ 文を用いる。表にデータ（行）を追加するには、 \_\_\_\_\_ 文を用いる。表のデータを更新（変更）するには、 \_\_\_\_\_ 文を用いる。表からデータ（行）を削除するには、 \_\_\_\_\_ 文を用いる。